

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第120期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	サカイオーベックス株式会社
【英訳名】	SAKAI OVEX CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松木 伸太郎
【本店の所在の場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【最寄りの連絡場所】	福井市花堂中2丁目15番1号
【電話番号】	福井 0776-36-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 小出 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第119期 第2四半期連結 累計期間	第120期 第2四半期連結 累計期間	第119期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	10,256,721	10,600,706	21,679,208
経常利益(千円)	817,263	1,000,047	1,556,880
四半期(当期)純利益(千円)	742,292	676,455	1,395,322
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	707,333	543,695	1,412,029
純資産額(千円)	8,230,501	9,349,381	8,934,950
総資産額(千円)	19,625,597	19,989,099	19,891,420
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	11.50	10.48	21.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	41.7	46.6	44.7
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	592,508	731,131	2,027,659
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	164,581	255,640	551,010
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	499,891	244,161	1,125,583
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	749,662	1,404,597	1,174,005

回次	第119期 第2四半期連結 会計期間	第120期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	6.18	4.49

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれていません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や政策効果等により緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機の再燃による世界経済の減速、円高の長期化や電力の供給不安など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループの業績は繊維販売事業を中心に全セグメントが増収となり、染色加工事業における原価率の低減と全社的な販管費削減により増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は10,600百万円と前年同期比343百万円(3.4%)の増収となり、営業利益は829百万円と前年同期比140百万円(20.4%)の増益、経常利益は1,000百万円と前年同期比182百万円(22.4%)の増益、四半期純利益は676百万円と前年同期比65百万円(8.9%)の減益となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、婦人衣料用途やスポーツ用途が減少し、これまで堅調であったユニフォーム用途も第2四半期以降は減少に転じました。一方、前年の東日本大震災の影響による反動もあり、自動車関連資材用途や医療介護資材用途が増加し、事業全体では増収となりました。また、工場稼働の効率化、要員の適正配置、生産ロスの削減等を継続して推進し、原価率の低減を図りました。

当事業の売上高は6,182百万円と前年同期比22百万円(0.4%)の増収となり、営業利益は424百万円と前年同期比62百万円(17.3%)の増益となりました。

(繊維販売事業)

当事業では、テキスタイルはユニフォーム用途や自動車関連資材用途が増加し、医療介護資材用途も堅調に推移しました。アパレルは中国素材の婦人用途が苦戦する中、新規顧客の開拓や小売業態への直販体制の構築に注力しました。また、中国内販事業の拡大を目的に設立した酒伊貿易(上海)有限公司は、婦人用途の縫製品販売等の営業活動を開始しました。

当事業の売上高は2,901百万円と前年同期比240百万円(9.0%)の増収となり、営業利益は303百万円と前年同期比54百万円(22.1%)の増益となりました。

(その他の事業)

その他の事業のうち、電子機器事業はFA制御関連が拡大し、自動制御装置関連や電力工事関連も堅調に推移しました。

水産資材事業では沖縄県を中心とした中層浮漁礁の拡販に努めるとともに、東北地方のワカメ産地復興支援事業も手掛けました。

建設不動産事業では公共工事や大型案件が減少する中、リフォーム等の小規模案件の獲得と原価管理の徹底を進めました。

一方、織布事業ではこれまで堅調であった高密度薄地織物が大幅な減少となり、婦人衣料用途の糸加工も生産調整等により減少するなど、厳しい業況となりました。

その他の事業の売上高は1,516百万円と前年同期比81百万円(5.7%)の増収となり、営業利益は83百万円と前年同期比13百万円(20.0%)の増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は1,404百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は731百万円の収入(前年同期は592百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,005百万円のほか、減価償却費360百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は255百万円の支出(前年同期は164百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は244百万円の支出(前年同期は499百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、403百万円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	224,000,000
計	224,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	68,362,587	68,362,587	(株)東京証券取引所 (第一部)	単元株式数 1,000株
計	68,362,587	68,362,587	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	68,362	-	4,655,044	-	1,536,986

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	4,645	6.79
平成会	福井市花堂中二丁目15番1号	4,270	6.24
株式会社福井銀行	福井市順化一丁目1番1号	1,650	2.41
サカイオーベックス従業員持株会	福井市花堂中二丁目15番1号	1,647	2.41
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内二丁目1番1号	1,645	2.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,434	2.09
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞が関三丁目7番3号	1,250	1.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	1,155	1.68
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	1,010	1.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	574	0.83
計	-	19,280	28.20

(注) 1. 当社は自己株式を3,827,657株所有していますが、上記大株主からは除いています。

2. 平成会は、取引先企業を対象とした持株会です。

3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式は、信託業務に係る株式です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,827,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,360,000	64,360	-
単元未満株式	普通株式 175,587	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	68,362,587	-	-
総株主の議決権	-	64,360	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれています。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれています。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サカイオーベックス株式会社	福井市花堂中二丁目15番1号	3,827,000	-	3,827,000	5.60
計	-	3,827,000	-	3,827,000	5.60

(注) 上記の他、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が2,000株(議決権の数2個)あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄に含まれています。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,230,842	1,461,101
受取手形及び売掛金	3,837,702	3,991,421
有価証券	999	999
商品及び製品	659,564	793,120
仕掛品	424,243	417,976
原材料及び貯蔵品	289,977	274,466
その他	1,385,393	1,163,313
貸倒引当金	32,111	32,149
流動資産合計	7,796,610	8,070,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,153,638	3,119,947
機械装置及び運搬具(純額)	1,629,816	1,474,595
土地	2,653,076	2,653,076
リース資産(純額)	120,801	117,121
建設仮勘定	11,130	42,220
その他(純額)	59,619	51,115
有形固定資産合計	7,628,082	7,458,076
無形固定資産		
その他	61,668	60,850
無形固定資産合計	61,668	60,850
投資その他の資産		
出資金	2,197,500	2,390,642
その他	2,208,570	2,010,423
貸倒引当金	1,012	1,144
投資その他の資産合計	4,405,058	4,399,921
固定資産合計	12,094,809	11,918,848
資産合計	19,891,420	19,989,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,203,289	2,907,813
短期借入金	2,069,087	1,958,872
未払法人税等	250,941	336,951
賞与引当金	483,772	506,436
その他	764,332	743,340
流動負債合計	6,771,423	6,453,414
固定負債		
長期借入金	3,028,468	3,038,946
退職給付引当金	600,891	606,323
その他の引当金	6,580	6,580
資産除去債務	102,135	104,231
その他	446,972	430,222
固定負債合計	4,185,046	4,186,303
負債合計	10,956,469	10,639,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	2,037,362	2,037,362
利益剰余金	3,142,924	3,690,306
自己株式	796,452	796,643
株主資本合計	9,038,879	9,586,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,579	83,535
繰延ヘッジ損益	30	3,821
為替換算調整勘定	223,682	186,552
その他の包括利益累計額合計	141,072	273,909
少数株主持分	37,143	37,220
純資産合計	8,934,950	9,349,381
負債純資産合計	19,891,420	19,989,099

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	10,256,721	10,600,706
売上原価	8,488,525	8,714,154
売上総利益	1,768,196	1,886,551
販売費及び一般管理費	1,079,348	1,057,261
営業利益	688,847	829,290
営業外収益		
受取利息	1,653	1,169
受取配当金	19,355	23,167
負ののれん償却額	189	-
持分法による投資利益	128,871	156,349
その他	41,894	41,588
営業外収益合計	191,965	222,274
営業外費用		
支払利息	52,445	45,280
その他	11,103	6,237
営業外費用合計	63,549	51,518
経常利益	817,263	1,000,047
特別利益		
固定資産売却益	2,663	4,416
助成金収入	5,356	4,656
補助金収入	163,333	-
その他	1,539	-
特別利益合計	172,892	9,073
特別損失		
固定資産除却損	10,547	3,432
固定資産圧縮損	162,421	-
その他	5,841	-
特別損失合計	178,810	3,432
税金等調整前四半期純利益	811,346	1,005,688
法人税、住民税及び事業税	71,586	339,059
法人税等調整額	1,596	9,975
法人税等合計	69,989	329,084
少数株主損益調整前四半期純利益	741,356	676,603
少数株主利益又は少数株主損失 ()	936	148
四半期純利益	742,292	676,455

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	741,356	676,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,886	166,186
繰延ヘッジ損益	9,018	3,851
為替換算調整勘定	-	336
持分法適用会社に対する持分相当額	21,881	36,793
その他の包括利益合計	34,022	132,907
四半期包括利益	707,333	543,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,271	543,618
少数株主に係る四半期包括利益	937	76

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	811,346	1,005,688
減価償却費	429,058	360,949
のれん償却額	189	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	793	169
受取利息及び受取配当金	21,009	24,337
支払利息	52,445	45,280
為替差損益(は益)	1,714	1,096
持分法による投資損益(は益)	128,871	156,349
有形固定資産売却損益(は益)	2,663	4,416
固定資産圧縮損	162,421	-
補助金収入	163,333	-
売上債権の増減額(は増加)	515,137	153,738
たな卸資産の増減額(は増加)	436,086	111,694
仕入債務の増減額(は減少)	107,585	295,474
その他	279,548	322,989
小計	577,621	990,163
利息及び配当金の受取額	21,818	24,337
利息の支払額	52,097	45,383
補助金の受取額	163,333	-
法人税等の支払額	118,167	237,986
営業活動によるキャッシュ・フロー	592,508	731,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	175,334	231,377
有形固定資産の売却による収入	5,414	-
投資有価証券の取得による支出	4,052	10,596
貸付けによる支出	-	14,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	7,859	-
その他	1,531	332
投資活動によるキャッシュ・フロー	164,581	255,640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	528,300	59,700
長期借入れによる収入	1,050,000	975,000
長期借入金の返済による支出	1,013,025	1,015,037
自己株式の取得による支出	135	191
配当金の支払額	40	126,825
その他	8,391	17,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	499,891	244,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,714	737
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	73,679	230,591
現金及び現金同等物の期首残高	823,342	1,174,005
現金及び現金同等物の四半期末残高	749,662	1,404,597

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、当四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	68,224千円	105,603千円
支払手形	79,639	76,381

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当賞与	516,499千円	479,358千円
賞与引当金繰入額	121,420	134,106
減価償却費	61,691	59,812
退職給付費用	13,724	12,684
貸倒引当金繰入額	820	75

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	805,383千円	1,461,101千円
預入期間が3か月を超える定期預金	55,721	56,504
現金及び現金同等物	749,662	1,404,597

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	129,073	2	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,160,275	2,661,393	8,821,668	1,435,053	10,256,721	-	10,256,721
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	5,455	8,216	13,672	287,545	301,218	301,218	-
計	6,165,731	2,669,609	8,835,340	1,722,599	10,557,940	301,218	10,256,721
セグメント利益	361,861	248,294	610,156	69,903	680,060	8,787	688,847

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額8,787千円は、セグメント間取引消去5,385千円、各報告セグメントに配分していない全社費用3,401千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,182,412	2,901,933	9,084,346	1,516,359	10,600,706	-	10,600,706
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	14,193	14,797	28,990	252,825	281,816	281,816	-
計	6,196,606	2,916,731	9,113,337	1,769,185	10,882,522	281,816	10,600,706
セグメント利益	424,375	303,132	727,507	83,887	811,395	17,894	829,290

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、電子機器事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額17,894千円は、セグメント間取引消去6,911千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10,983千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の調整額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	11円50銭	10円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	742,292	676,455
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	742,292	676,455
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,539	64,536

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

サカイオーベックス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 垂井 健 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサカイオーベックス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サカイオーベックス株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。